# みえ像なまず

JNS-SS1000

# 取扱説明書

**日本ネットワークサービス株式会社**

# 目次

# はじめに

このたびはみえ像なまず（JNS-SS1000）をお買い上げいただき、誠に有難う御座います。本取扱説明書ではみえ像なまずの使い方について説明しています。ご使用の前に必ずお読みください。

## 本製品の基本的な利用方法

本製品は、気象庁からの緊急地震速報を受信し、設置場所において震度4以上の地震が発生すると計算された時点で警報音声を発報しますので、事前に訓練などにより習熟した避難行動の一助として利用してください。内蔵または外付けのセンサーが作動したら予め登録した宛先へメールで通報しますので、その時のカメラ映像を携帯電話機などに表示して確認し、必要に応じ、遠隔操作することで警告音声を発報させ不審者を撃退するなどの警告行動の一助として利用して下さい。また、任意のタイミングで操作してカメラ映像を取り込み、表示することを可能としていますので、設置場所のみまもりの一助として利用して下さい。

## 本製品についての注意事項

①停電、落雷など本製品の故障が原因で発生した誤動作、不具合によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの経済的損失については、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
②本製品は、盗難防止器、火災・ガス漏れ防止器、災害防止器では有りません。本製品のご使用方法の誤り、保守点検の不備による事故災害、万一発生した盗難事故、人身事故、火災事故、ガス事故、災害事故および天災地変などによる事故損害について、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
③当社は、不断の製品改良のため、本製品の仕様、外観、価格などを予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
④当社の許可なく本製品を複製、改変などを行なうことはできません。
⑤本製品のご使用は、日本国内のみです。本製品を海外でご使用になる場合、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
⑥本書の内容の一部または全部を無段で転載することを禁止いたします。
⑦本製品のご注文、サービスのお申し込みに際してご提示や契約書として確認をさせて頂いています内容を事前にご了承を頂いたことを前提としてご使用をお願いいたします。

## 保証について

本製品には登録日から1年間は故障に際して無償で交換させて頂く保証期間がありますので、本説明書裏面の登録日をご確認ください。ただし、物理的な損傷に対しては保証期間内でも無償保証の対象外とさせて頂きます。
保証期間終了後の故障などは、有償での修理、部品交換となりますのでお買い求めいただいた販売店に御相談下さい。

## お使いになる前に

みえ像なまず（JNS-SS1000）をご利用いただくには
インターネット接続環境（ＡＤＳＬ、光、ＣＡＴＶ、Ｍｏｂｉｌｅ等）が必須となっています。お客様のネットワーク環境に合った正しい設定、設置をしたうえで当システムをご利用ください。

## 安全上のご注意　ご使用の前に必ずお読みください

### 注意表示について

本取扱い説明書には、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用になる方や他の人々への危害や財産などへの損害を未然に防止するために、いろいろな注意表示をしています。
その表示と意味は、次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容およびおよび本製品に物的障害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 注意表示の例

△記号は、注意、警告しなければならない内容であることを示しています。
図中の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が示されています。

記号は、禁止（してはいけないこと）の内容を示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は分解禁止）が示されています。

抜く

●記号は、必ず実行していただきたい内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は電機プラグをコンセントから抜く）が示されています。

## ⚠警告 設置するとき

| | |
|---|---|
| | 当社指定の電源電圧のコンセント以外には、絶対に接続しないでください。コンセントにゆるみがある場合は、使用しないでください。また、本製品の配線は、タコ足配線や誤った配線を行なわないでください。火災、感電の原因になります。 |
| | 本製品は、風呂場や台所、熱器具など、水場や火気の近くには設置しないでください。火災、感電、故障の原因になります。 |
| | 本製品は、ぐらついた台や傾いた所など、不安定な場所に設置しないでください。落下して、けがや故障の原因になります。本製品を取り付けるときには、確実に固定してください。 |

## ⚠警告 使用するとき

| | |
|---|---|
| 抜く | 本製品の内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。万一異物が内部に入った場合は、電源コードのプラグをコンセントから抜いて、販売店に修理を依頼してください。 |
| 水 | 本製品に水をかけないでください。また、濡れた手で本製品を操作しないでください。火災、感電、故障の原因になります。<br>水などが入った容器（花ビン、植木鉢、コップ、飲料、薬品など）は液体がこぼれたりしますので、本製品の上や近くには置かないでください。 |
| 分解 | 本製品のケースを無理に外したり改造しないでください。<br>火災、感電、故障の原因になります。また、分解、改造は法律で禁止されております。<br>本製品の内部の点検、清掃、修理は、販売店に依頼してください。 |
| 抜く | 電源コードは、大切に扱ってください。<br>電源コードは、プラグを持って抜き差ししてください。<br>コードの上に重い物を載せる、コードを無理に曲げる、引っ張る、束ねる、加工する、コードを熱器具に近づけるなど。しないでください。火災や感電の原因になります。<br>電源コードが切れたり、芯線が露出したときには、販売店に電源コードの交換を依頼してください。<br>そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。 |

## ⚠警告　使用するとき（つづき）

| | |
|---|---|
|  | 電源コードのプラグは、濡れた手で抜き差ししないでください。<br>感電の原因になります。 |
|  | 雷が鳴り出したら、電話回線コードや電源コード、プラグに触れないでください。感電の原因になります。 |

## ⚠警告　異常が発生したとき

＊本製品から煙が出ている。異臭がするなどの異常
＊各種センサの信号を受信しないなどの故障
＊本製品も内部に水や物が入ってしまった。
＊本製品を落としたり、破損した。

こpのような時は、すぐに電源コードをコンセントから抜き、販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。尚、お客様ご自身が修理することはたいへん危険です。絶対にしないでください。

## ！注意　設置するとき

| | |
|---|---|
| | 本製品は、次のような場所に設置しないでください。<br>火災、感電、故障の原因になることがあります。<br>＊湿気やほこりが多いところ。<br>＊直射日光が当たるところ。<br>＊熱器具のそば。<br>＊薬品のそば、有毒ガスが発生するところ。 |
| | 本製品を移動するときは、必ず電源コードのプラグおよび通信回線のコードを外してください。<br>コード類を接続したまま移動すると、コードを傷付け、火災、感電の原因になることがあります。 |

## ！注意　使用するとき

| | |
|---|---|
| | 電源コードのプラグのほこりに注意してください。<br>電源コードのプラグとコンセントの間にほこりが溜まると、火災の原因になることがあります。定期的に電源コードのプラグを抜き、掃除してください。 |
| | 本製品を長時間ご使用にならない時は、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。 |
| | 本製品をお手入れするときは、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。感電の原因になることがあります。 |

## 使用上のご注意　ご使用の前に必ずお読みください

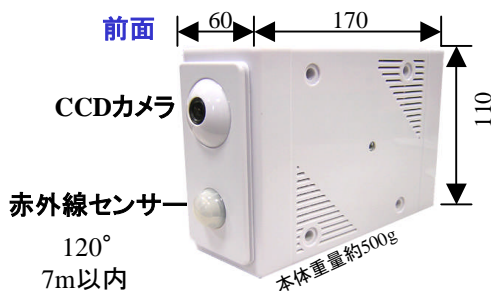
製品を最良の状態でお使いいただく上で、ぜひ守っていただきたいことを説明してあります。内容をよく理解し、正しくお使いください。

| ご使用の前に | |
|---|---|
| | 本製品は、国内専用機です。海外ではご使用になれません。 |
| 抜く | 各端子に配線を接続したり、抜いたりする場合は、必ず電源スイッチをOFFしてください。 |
| | 本製品のケースを拭くときは、ベンジン、シンナー、アルコールなどを使用しないでください。変形、変色の原因になることがあります。 |
| **インターネット回線について** | |
| | 電話回線は、適合する電話回線以外には接続しないでください。<br>故障の原因になることもあります。 |
| | ADSL、CATV、FTTH回線をご使用になる場合は、接続するモデム、ルーターの種類によっては正しく作動しない場合があります。 |
| | ISDN回線をご使用になる場合は、接続するTA(ターミナルアダプター)の種類によっては正しく作動しない場合があります。 |

## 使用上のご注意（つづき）ご使用の前に必ずお読みください

| 誤操作時:異常時の処理 | |
|---|---|
|  | 操作などを間違えたり、強い外来ノイズ(過大な静電気、電磁波、落雷などによる電源電圧の異常、衝撃)を受けますと、操作を受け付けなくなることもあります。 |

# JNS-SS1000　基本仕様

## JNS-SS1000本体

**カメラ部仕様**

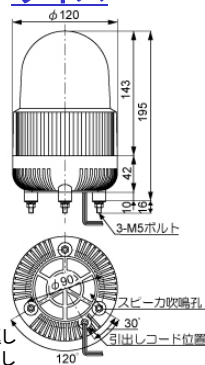
| | |
|---|---|
| ◆撮像素子 | ¼"インターラインCCD |
| ◆画素数 | 41万画素 |
| ◆仕様CCD | ICX226AK(SONY) |
| ◆向き | 上下左右手動可変 |
| ◆レンズ | f=3.0mm　F2.8 |
| ◆同期方式 | 内部同期 |
| ◆走査方式 | 2:1インターレース |
| ◆信号出力 | VBS　1Vp-p　75Ω |
| ◆最低照度 | 0.6 lux以下（参考値） |
| ◆水平解像度 | 350　TV体 |
| ◆逆行補正 | 前面測光 |
| ◆S/N比 | 45dB以上 |
| ◆ATW | 自動 |
| ◆消費電流 | 130+/-10mA |
| ◆動作温度 | -5℃～+40℃湿度80%↓<br>ただし結露しないこと |
| ◆カメラ向き | 手動可変 |

| | | |
|---|---|---|
| 全体制御 | 32ビットRISCプロセッサ(133MHz) | |
| メモリ部 | SD−DRAM | 64Mbit, 1M×16bit, 4bank |
| | Flash−ROM | 16Mbit, 1M×16bit |
| | SRAM | 4Mbit, 256k×16bit |
| | EEPROM | 1024bit, 128×8/64×16, シリアル |
| カメラ入力部 | 入力1 | NTSC/PAL方式コンポジットビデオ信号(入力選択切替) |
| | 入力2 | NTSC/PAL方式コンポジットビデオ信号(入力選択切替) |
| 画像出力部 | 出力 | 16bit(YCbCr) |
| | 圧縮方式 | ソフトウェア圧縮 |
| ネットワーク | Ethernet 10base−T/100Base−T | |
| シリアル部 | チャンネル1 | RS−232C,500kbps(最大) |
| | チャンネル2 | RS−232C,500kbps(最大) |
| 汎用I/O | 入力 | ディジタル4bit, TTLレベル |
| | 出力 | ディジタル4bit, オープンコレクタ,500mA/ch(最大) |
| 電源 | 電圧 | DC5V±0.25V |
| | 消費電力 | 5W(標準) |

## 音声入り回転灯（屋外、室内兼用）

### 色

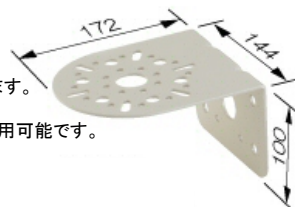
### サイズ

φ120　143　195　42　10　16　3-M5ボルト　φ90　スピーカ吹鳴孔　30°　引出しコード位置　120

### 出力音声

①地震速報⇒「地震です！　地震です！避難してください！」4回繰返し
②防災警報⇒「警戒警備中です。　速やかに出てください！」4回繰返し

### 特長

①内蔵の音量ボリュームによって無段階に簡単に調節できます。
②音声は最大90dBの全方向タイプです。
③保護特性IP34（正方向取り付け時）水のかかる場所でも使用可能です。
④有償で独自音声の録音サービスが可能です。

172　144　100

## 室内専用スピーカー

| | |
|---|---|
| 実用最大出力 | 5W（親機2.5W+子機2.5W） |
| 周波数特性 | 200Hz～20000Hz |
| スピーカー形式 | バスレフ式フルレンジス（防磁設計） |
| スピーカーサイズ | 2x3.5インチ（直径50x88mm） |
| ロードインピーダンス | 8Ω |
| 入力端子 | ステレオミニプラグ(3.5mm) |
| 電源 | 内蔵 |
| アンプ | 内蔵 |
| 出力音声（地震） | 震度4以上の地震がきます　注意してください |
| （防犯） | 警戒警備中です　速やかにでてください |

音量ヴォリューム設定ツマミ（左⇒右、小⇒大）
電源ON時緑のLED点灯
電源ON/OFFスイッチ（押し下げ⇒ON、再度押し下げ⇒OFF）

## 操作スイッチ

「JNS SS-1000本体」との接続端子

110x50x25mm

| | |
|---|---|
| 地震テスト | 押す（離すと戻る）ことで、擬似的に警報音声を発報すると同時に、本体の出力端子に信号を出力します（パルス信号と継続信号の2種類）<br>訓練時などで使用してください |
| 通信障害 | 本体とサーバー間の通信障害時点滅する赤色LED |
| 解　除 | 押す（離すと戻る）ことで、本体からの出力信号を停止します。地震テストを押したら、必ずこの「解除」ボタンを押してください（押すまで赤色LEDが点灯を継続しています） |
| 通報する<br>通報 しない | センサー作動時に登録先へメール通報するか、しないかを選択します。「通報する」が選択されている場合のみ、携帯電話機やPCからの操作で通報するかしないかを設定できます。 |

# 接続方法

## １．接続代表例（ADSL＝Asymmetric Digital Subscriber Line）

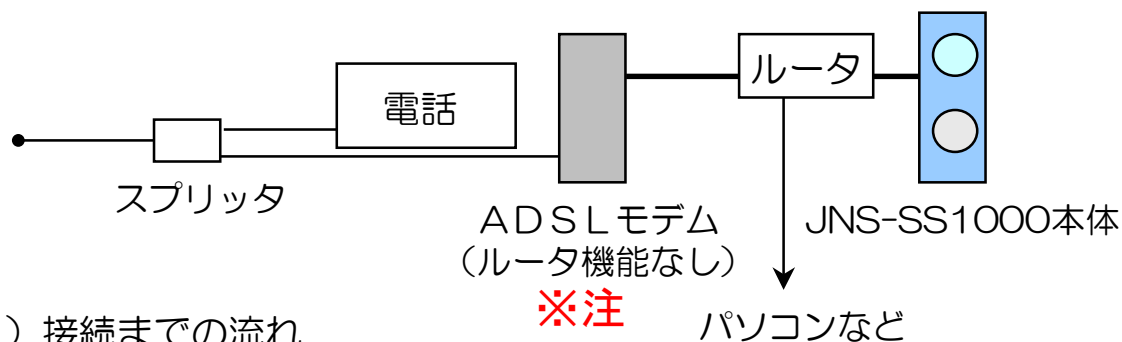
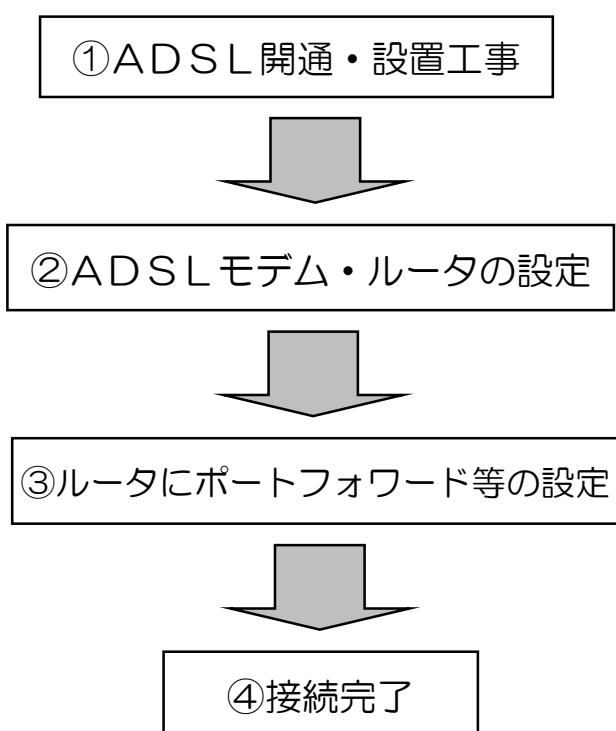
（１）構成図

（２）接続までの流れ

①ＡＤＳＬ開通・設置工事

②ＡＤＳＬモデム・ルータの設定

③ルータにポートフォワード等の設定

④接続完了

※注
ADSLモデムに直接パソコンを接続している場合はルータが別途必要になります。

（３）難易度　Ｃ（パソコンを使用できるレベルでＯＫ）
モデムはレンタルの場合が多い。
今までの電話回線（アナログ）をそのまま使用でき、
インターネットを使用しながら電話も出来る。
費用も比較的安い。
各種プロバイダにて、訪問設定サービスがある。
プロバイダのマニュアルに細かく載っている。

## ２．基本的な使用方法

### （１）緊急地震速報発報ツールとして

気象庁の地震速報データを基に、本取扱説明書11頁に記載の「エリアコード」で設定された地域に、震度4以上の地震が発生すると想定された場合にスピーカーから「警報音声」を発報しますので、予め訓練などにより定められた避難行動をとり災害から身を守るための一助として使用してください。

エリアコードを活用することで他地点における速報に基づいて発報させることができます。

### （2）安全・安心対策のツールとして

センサーが作動したら、本取扱説明書14頁に記載の「通報先メール」で設定されたメールアドレス宛にメールで通報します。 本説明書15頁以下に記載の方法でカメラ映像を確認し、必要に応じてスピーカーから警報音声をON/OFFして威嚇することで不審者を早期に撃退することで事故の被害を最小限にするための一助として使用してください。

カメラ映像はセンターサーバに保存されていますので不幸にして現場が破損された場合もその時点までの映像は保管されていますので証拠としても活用できます。

また、遠隔操作でカメラの映像を取り込むことができますので何時でも、何処からでも「みまもり」ができます。

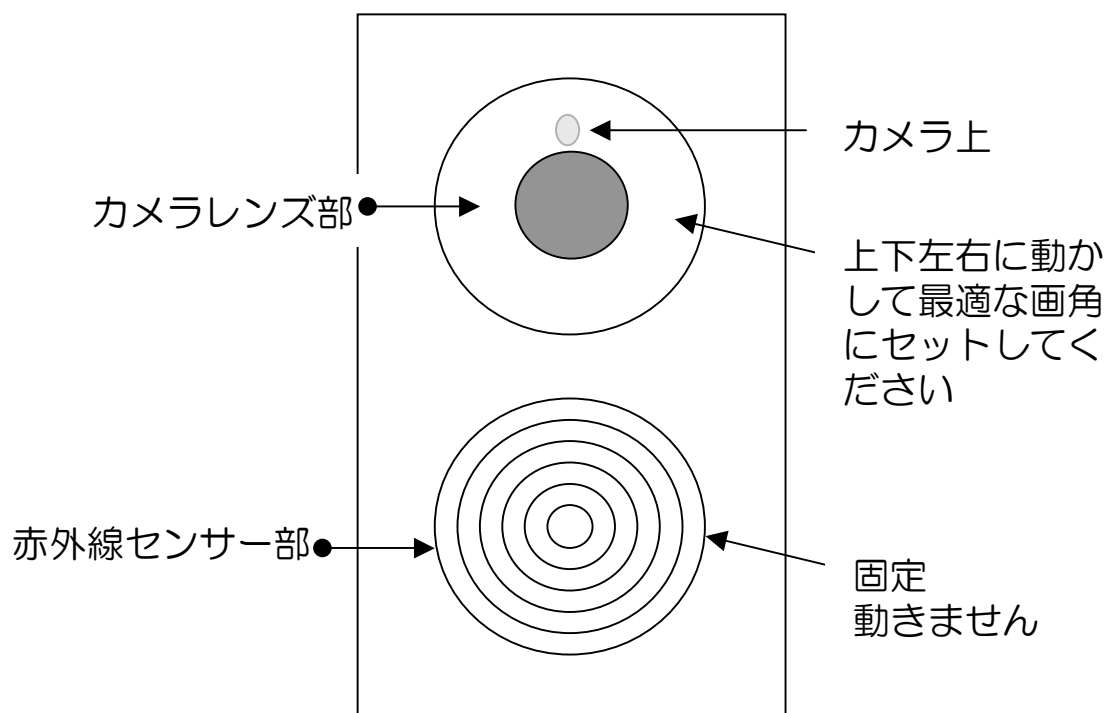
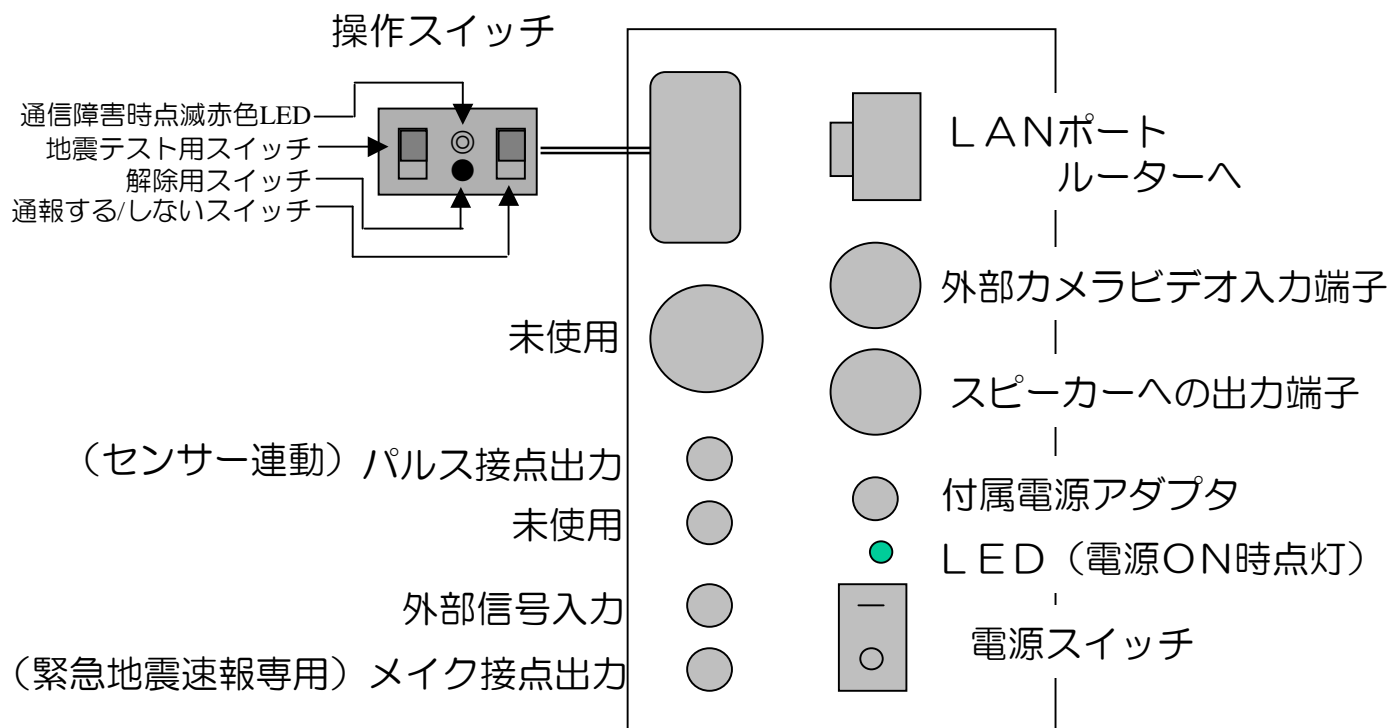
オプションの出力ポートを活用することで電気錠や照明のON/OFFを遠隔操作することができます。

# 本体構成

## 1. 前面

カメラ上
カメラレンズ部
上下左右に動かして最適な画角にセットしてください
赤外線センサー部
固定
動きません


## 2. 背面

操作スイッチ
通信障害時点滅赤色LED
地震テスト用スイッチ
解除用スイッチ
通報する/しないスイッチ
ＬＡＮポート
ルーターへ
外部カメラビデオ入力端子
未使用
スピーカーへの出力端子
（センサー連動）パルス接点出力
未使用
付属電源アダプタ
ＬＥＤ（電源ＯＮ時点灯）
外部信号入力
（緊急地震速報専用）メイク接点出力
電源スイッチ

# 初期設定方法

## １．設定ログイン画面

（１）次のＵＲＬを携帯電話機、ＰＤＡ、パソコンなどの
インターネット端末機からアクセスして下さい。

http://namazu0.miezo.net/set/

数字のゼロ

（２）つぎのログイン画面が表示されます。

●数字は6ケタの半角数字です。

●Ｐａｓｓｗｏｒｄは4ケタ半角数字です。

●初期設定では、左枠内の内容になっています。

※注：必ずＰａｓｓｗｏｒｄを変更して下さい。

「戻る」をクリックして
やり直してください

（３）パスワードを入力して「確定」をクリックして下さい。

（４）次のページへ進み、各種の設定ができます。

## ２．設定トップ画面、エリアコード登録画面

設定画面トップ
エリアコード登録
パスワード変更
カメラ名称登録
メール登録
戻る

●エリアコード登録
郵便番号を登録します

●パスワード変更
①使用開始後に必ず変更して下さい。
②パスワードを忘れないようにして下さい。
③パスワードは漏洩しないようにして下さい。
④時々変更することをお勧めします。

●カメラ名称登録
ここで登録した名称がセンサー作動時にメール通報された画面に表示されます

●メール登録
ここで登録したアドレスに対して
センサー作動時にメールで通報されます

●戻る
一つ前の画面に戻ります（以下同様）

# ３．パスワードの変更・登録画面

## ●パスワード変更

（１）「パスワード変更」をクリックします。

※注意事項
①使用開始後に必ず変更して下さい。
②パスワードを忘れないようにして下さい。
③パスワードは漏洩しないようにして下さい。
④時々変更することをお勧めします。
⑤パスワードを忘れたら info@jns.jp へメールで問い合せてください。

（２）半角数字４ケタを入力して下さい。

① 現在のパスワードを入力して下さい。

② 新規のパスワードを入力して下さい。

③ 確認のため、もう一度新規の
パスワードを入力して下さい。

（３）「確定」をクリックして下さい。
設定トップ画面に戻ります。（以下同様）

正しく変更できたら

変更しました
現在
新規

正しく変更できなかったら

変更できませんでした
再度入力してください
現在
新規

# ４．カメラ名称の登録画面

設定画面トップ

エリアコード登録

パスワード登録

カメラ名称登録

メール登録

戻る

## ●カメラ名称登録

（１）「カメラ名称」を選択して、
クリックします。

（２）カメラ名称を８文字以内で設定して
「確定」をクリックして下さい。

・ここで入力した名称が画像上に表示
されます。

（注）8文字以上を入力して「確定」をクリックしたら
8文字以降を削除して登録し、つぎの警告文が表示されます

名称を8文字に切り詰めました。
設定できる文字数は8文字までです。

## 5．通報先メールアドレスの登録画面

設定画面トップ

エリアコード登録

パスワード登録

カメラ名称登録

メール登録

戻る

●メルアド登録

（１）「メール登録」を選択して、
クリックします。

通報先メール登録

確定　戻る

（２）入力したい項目を選択して入力して下さい。

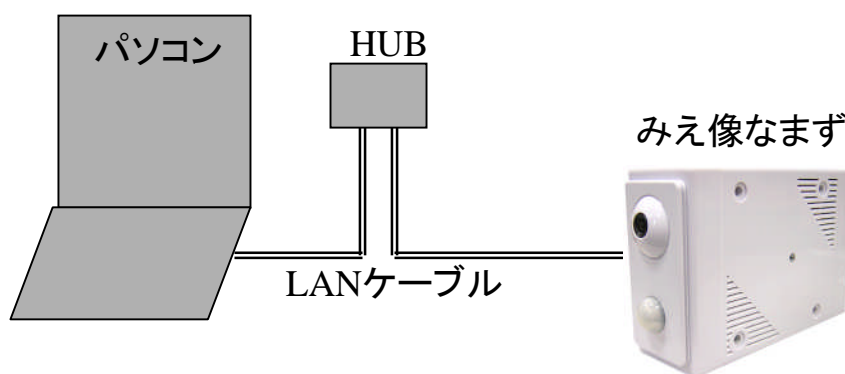
・センサー作動時の通報先メールアドレスを登録して下さい。
・メールアドレスは＠を含めた全部を入力して下さい。
・入力が終了したら「確定」をクリック
してください

※メールアドレスは、5件まで登録出来ます。

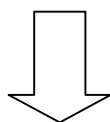
※注意事項
①設定時に登録した作業者メールアドレスは
削除するか書換えて下さい。
②圏外の場合、通知が届かない場合があります。

## ６．ローカルIPアドレス設定方法

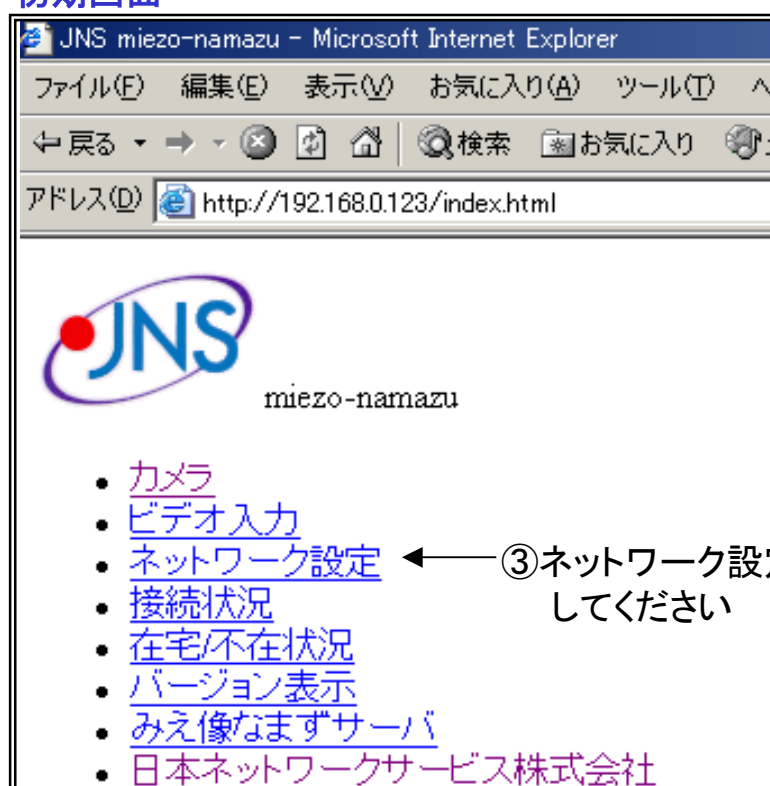
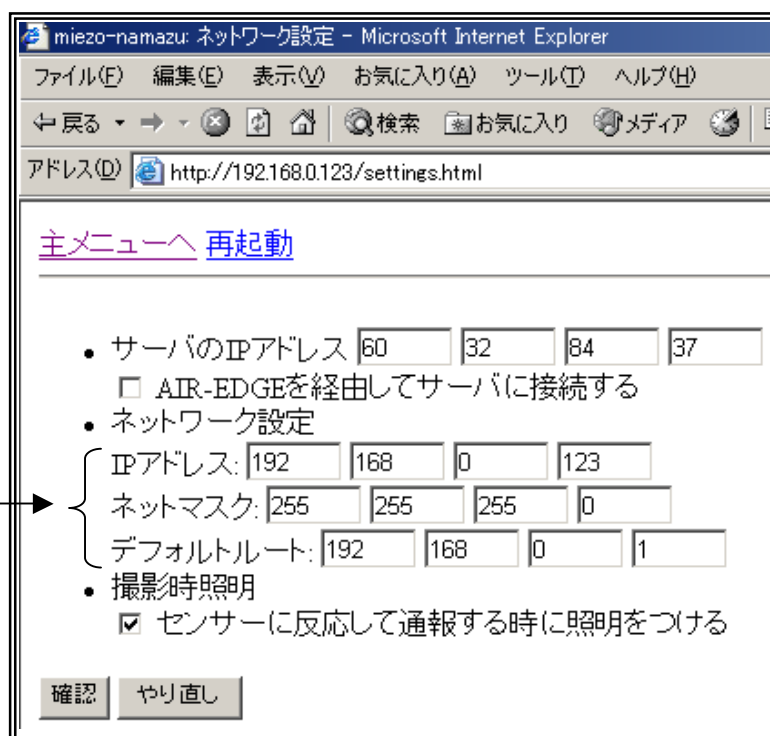
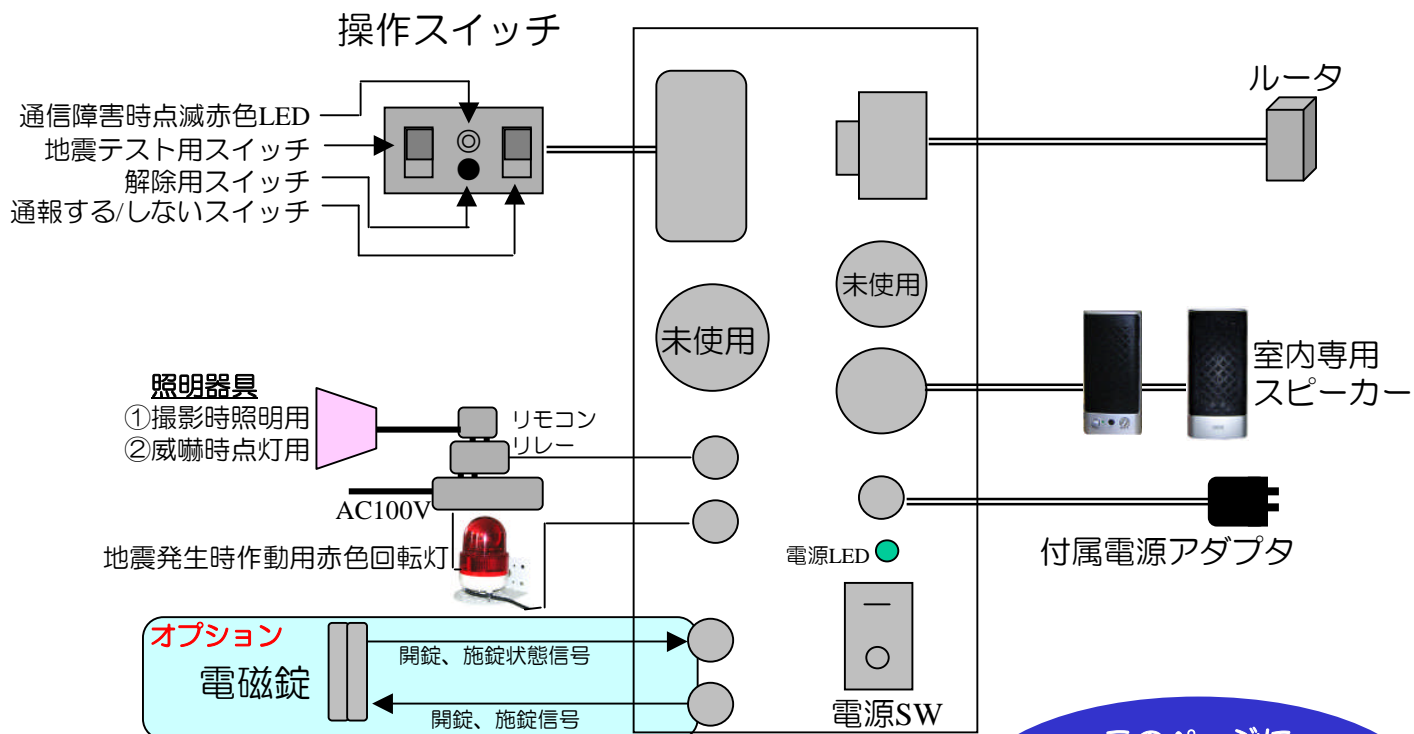
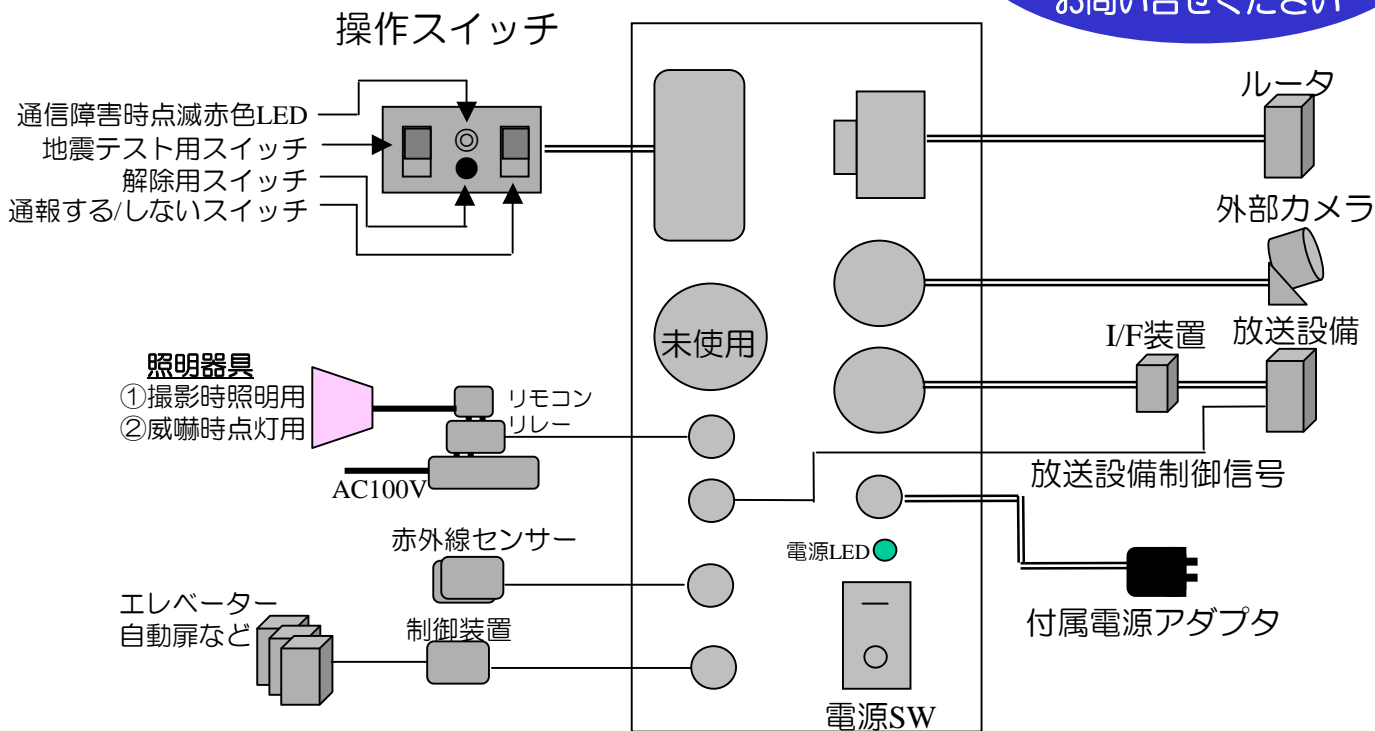
第②項に記載の出荷時のIPが、既設のLANに合致しない場合のみ
以下に記載の方法でローカルIPを変更してください

①みえ像なまずとパソコンをHUB経由LANケーブルで接続してください

②ブラウザを立ち上げて、工場出荷時のIPアドレスを入力して初期画面を
表示してください

出荷時のIPアドレス　192. 168. 0. 123

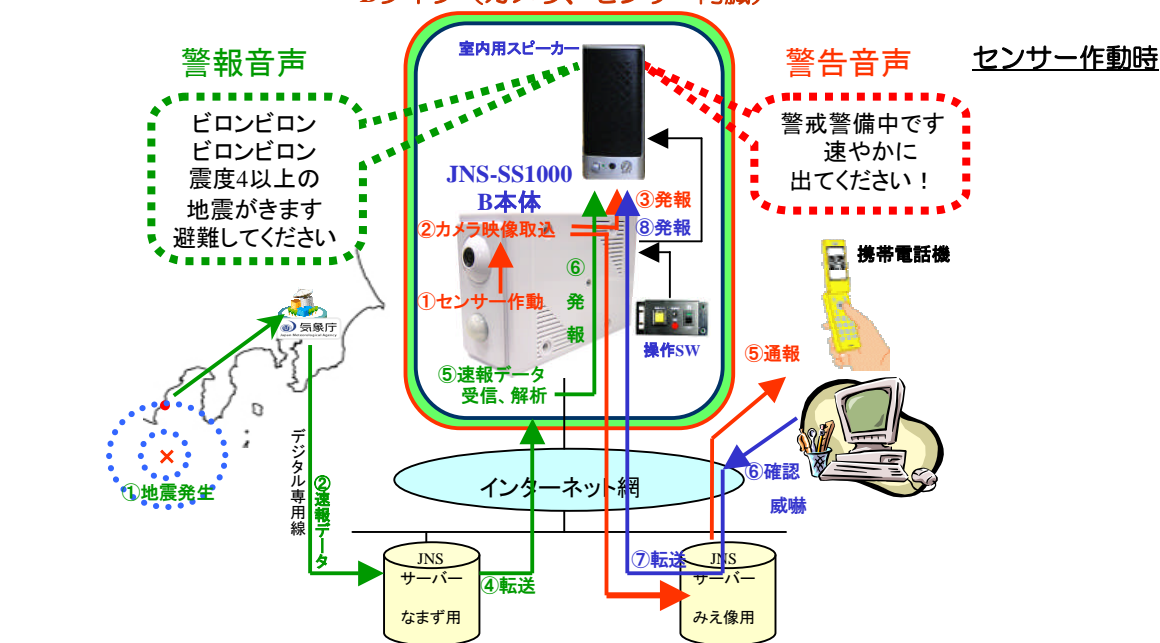
(注1)パソコンのローカルIPアドレスのグループは
192.168.0.***であることが条件です
(注2)パソコンのローカルIPを一時的に変更した場合は
作業終了後に元のアドレスに戻すことを忘れないように
してください
(注３)作業終了後にパソコンを元のLAN環境下に戻す時、
IPアドレスを自動取得に設定する場合は、最後に
コマンドプロンプトを立ち上げて「ipconfig /all」を
実行することをお奨めします

つぎページへ

## ６．ローカルIPアドレス設定方法　（つづき）

**初期画面**

④IPアドレス、ネットワマスク、デフォルトルートの各項目に入力して「確定」をクリックして終了してください

## ７．接続機器と利用方法事例

# みえ像なまずの仕組みと利・活用について

ここでは「みえ像なまず」の基本的な仕組みと利・活用について説明します。

なお、緊急地震速報の詳細は気象庁ホームページ　http://www.jma.go.jp/jma/index.html

をご参照ください。

## 地震発生⇒警報音声発報まで

①で発生した地震を、気象庁が設置した観測機器でデータ化、②、③を経由してみえ像なまずB本体④で受信して解析し震度4以上の揺れが発生すると予測された場合に警報音声をスピーカーから発報する

## 避難訓練サポート

携帯電話機やパソコンを操作することで警報音声をスピーカーから発報させる機能を利用して、避難訓練に活用してください

## （注記）

気象庁からの緊急地震速報は地震発生地点で発声するP波とS波の進行スピードの差を利用して地震の到達までの時間を計測して発報する仕組みですので、直下型や近距離で発声した地震には効果を発揮しません

## センサー作動⇒通報まで

みえ像なまずB本体①でセンサー作動を検知したら、②でカメラ映像を取り込み、③で1回だけスピーカーから警告音声を発報すると同時に④、⑤にて登録先へメールで通報する

## 確認⇒威嚇⇒撃退

携帯電話機やパソコンで不審者の映像が確認されたら、⑥で「ON」ボタンをクリックして⑦でスピーカーから警告音声を発報して威嚇し不審者を撃退する

## 新規撮影⇒保存映像提出⇒不審者逮捕に協力

携帯電話機やパソコンで「新規撮影」ボタンをクリックして撮影された映像はJNSみえ像サーバに保存されているので、その映像を警察に提出して不審者の逮捕に協力する

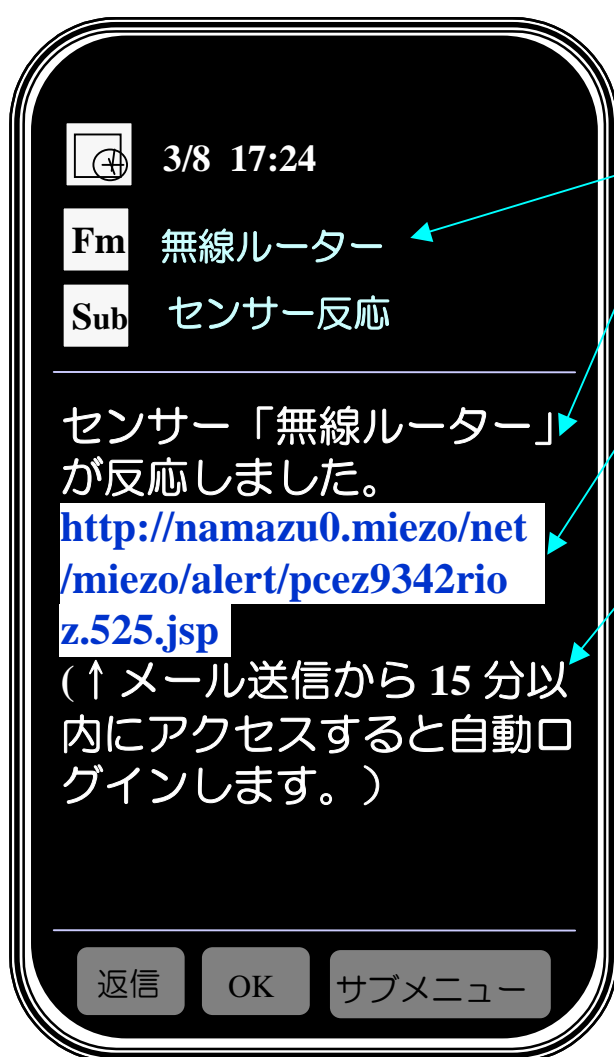
## みまもり

携帯電話機やパソコンで「新規撮影」ボタンをクリックすることでその時のカメラ映像を確認することができますので、この機能を利用して不在時にも設置場所の様子を確認して「みまもる」ことができます

# センサー反応時のメール通報について

●センサー反応時には登録先へメールで通報されます。
●登録先として最大5アドレスが登録できます。
●登録先への通報は、電話会社や事業者のメールサーバを経由しますので、これらのサーバーや回線状態の輻輳状態によっては時間を要して受信されることがあります。

## メール受信サンプルと使用方法事例

（注）パソコンでの受信も類似の表示方法となり、使用方法は携帯電話に順じます

13ページでの「カメラ名称登録」において入力した内容が表示されます

ここにカーソルを合わせてクリックすることで21ページの画面が表示されます

ただし、メール送信から15分以上経過してアクセスされますと、20ページの画面が表示されますのでIDとパスワードを入力しなければ21ページの画面は表示されません

# 携帯・端末表示方法

## 1．表示トップ画面

（1）次のＵＲＬを携帯電話機、ＰＤＡ、パソコンなどの
　　インターネット端末機からアクセスして下さい。

http://namazu0.miezo.net/view/

数字のゼロ

（2）つぎの画面が表示されます。

ID MN
Password
確定

間違えたら、再度やり直してください

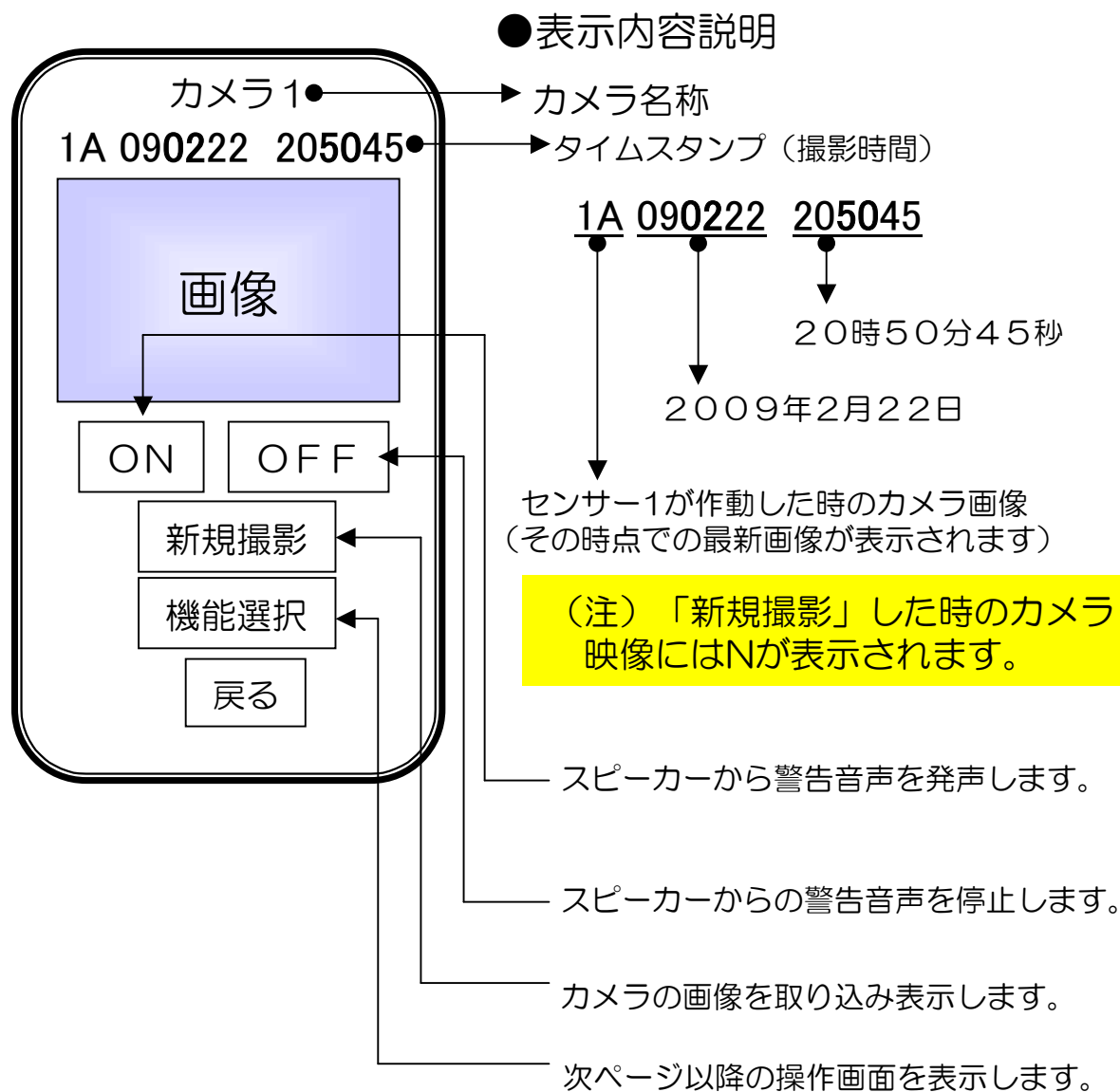
※注
①メールで通報された場合は、メール本文にURLが表示されていますので、この部分をクリックすることで、自動的に21頁に記載の画面が表示されます。
②但し、メール通報されてから15分以上が経過した時点ではIDとPasswordを入力する画面が表示されます。

（3）端末機の使用方法に従って
　　ＩＤとＰａｓｓｗｏｒｄを入力下さい。

●IDはMN及び数字です。
●数字は6ケタの半角です。
　例）MN123456
●Passwordは４ケタ半角数字です。
●初期のPasswordは-10-頁を参照してください

※注：必ずPasswordを変更してください。

（4）入力して「確定」を押すと
　　次のページへ進みます。

## 2. 端末機に表示される映像

＊操作を終了するには、携帯電話機の「終了」ボタンをクリックするかブラウザを閉じてください。（パソコン他も同様）

## ３．機能選択

カメラ１
1A 090222 205045
画像
ON
OFF
新規撮影
機能選択
戻る
機能選択
地震速報テスト
保存画像リスト
日時指定検索
通報する/しない
戻る
クリックすると「地震警報音声」を擬似的に発報することができます。
クリックすると「新しい順に」保存画像リストを５件づつ表示します。
1A 090222 093050
1N 090222 075023
1A 090221 153020
1A 090221 153019
1A 090221 153010
新
旧
戻る
現在表示しているリストよりも新しい画像が保存されている場合は、次の新しいリストを表示
次の旧いリストを表示
カーソルを合わせてクリックするとその画像を表示します。

## ３．機能選択　（つづき）

機能選択

地震速報テスト

保存画像リスト

日時指定検索

通報する/しない

戻る

日時指定検索

今日 ▼

今日
１日前
２日前
３日前
４日前
５日前
６日前
7日前

時　分

保存画像検索

戻る

日付（プルダウンBOXから選択）、
時、分、を入力して「保存画像検索」
をクリックすると一番近い時刻の画像
が表示されます。

現在の設定　通報する

する　しない

戻る

本体近辺に設置する
「操作スイッチ」での
選択、設定状態を表示
しています

センサー作動時通報　→ する　→ しない

いずれかを選択、クリックして終了してください

（注）この設定画面により、センサーが作動したら通報するか、しないかを
設定するに際しては、「操作スイッチ」で 通報する が選択されて
いることが前提です。

| 操作スイッチの選択位置 | 設定画面のクリック位置 | | |
|---|---|---|---|
| する | する | ⇒ | 通報する |
| する | しない | ⇒ | 通報しない |
| しない | する | ⇒ | 通報しない |
| しない | しない | ⇒ | 通報しない |

# こんな場合は（故障かな？と思ったら）

本機をお使いの上でトラブルが起きた時の対処のしかたについて説明します。
故障かな？と思っても、調べてみると故障では無いこともあります。
修理を依頼される前に、本項目に記載されている内容をまず調べてみてください。

## Ｑ＆Ａ

### 電源関係

１．電源が入らない。

●電源線がコンセントに正しく接続されているか確認してください。

●器具背面の電源スイッチは入っているか確認してください。

２．使用中のはずなのに電源が切れている。

●背面の電源スイッチを確認してください。

●停電になっていませんか。

●コンセントからコンセントプラグが、はずれていないか確認してください。

### 通信関係

１．通信映像がこない。

●接続に使用されているＬＡＮケーブルの種類がストレートタイプか確認してください。

●カメラとルーター、モデムの接続、設定は間違いないか確認してください。

●通報先メールアドレス登録がされていますか、また、正しく入力されているか確認して　ください。

●携帯電話の電源は入っているか確認てください。

●携帯電話の電波状況がどうか確認してください。

２．新しい別の携帯電話でも映像通信をしたいのですが、どのようにすれば良いですか。

●メール通報先に登録してください。

## 画像と表示関係

１．設定画面や操作画面にカメラが表示されない。

●ＩＤ、パスワードは正しく入力されているか確認してください。

●カメラ名称の設定がされているか確認してください。

## 設定と操作関係

１．アラーム画像を見ることができない。

●携帯電話の条件が充たされているか確認してください。

●再度接続しなおしてください。

●ＩＤ、パスワードを誤っていないか確認してください。

２．画像の新規撮影を行なったが表示されなかった。

●携帯電話機が圏外になっていないか確認してください。

３.パスワードを変更したい。

●パスワード変更画面から変更できます。

４.画像をパソコンに保存したい。

●お使いのパソコンやソフトの取扱説明書で、画面コピーの方法をご参照ください。

## その他

１．インターネット接続環境を変更した場合（例：ＡＤＳＬから光へなど）はどうしたら良いですか。

●販売店へ御連絡ください。

## JNS-SS1000　保証書

本書は、記載内容の範囲で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

保障期間中に故障が発生した場合は、商品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店に本書をご提示ください。登録年月日、販売店など記入もれがありますと無効です。本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

＜無料修理規定＞

１．取扱説明・本体注意ラベルなどの注意にしたがった正常な使用状態で、保障期間内に故障した場合には無料修理いたします。

２．保障期間内でも、次の場合には有料修理となります。

（イ）本書の提示がない場合

（ロ）本書に登録年月日・販売店名の記載がない場合、または字句を書き換えられた場合。

（ハ）使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。

（ニ）お買い上げ後に落とされた場合などによる故障・損傷。

（ホ）火災・公害・異常電圧および地震・雷・風水害その他天災地変など、外部に原因がある故障・損傷。

３．本書は日本国内においてのみ有効です。

★この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従いましてこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理などにつきましておわかりにならない場合は販売店にお問い合わせください。

日本ネットワークサービス株式会社
〒343-0845埼玉県越谷市南越谷1-5-34
メールアドレス　info@jns.jp
ＴＥＬ０４８－９８８－２８７７
ＦＡＸ０４８－９９０－５３８１

## 登録情報

| ＩＤ番号：ＭＮ |
| --- |
| 登録日： |
| 代理店： |